

## 早池峰シカ防護網 2020 part II



コバイケイソウ



ヨツバシオガマとチングルマ

7月8・10日の両日、早池峰で岩手県自然保護課主導による、二ホンシカ食害対策の防鹿柵（網）の設置作業の3年目、第2回目の作業が行われました。

初日の8日（水）は、河原ノ坊ビジターセンターから現場までの荷揚げ作業と位置決め測量、2日目の10日（金）は、拡張部分の杭打ちから網上げまでの工程で、両日とも15人ほどの人員で作業しました。

集合地は河原ノ坊総合休憩所（ビジターセンター）駐車場で、早池峰グリーンボランティアの会員や岩手県勤労者山岳連盟の会員、環境省盛岡事務所などから集結し、私は「早池峰地域保全対策事業推進協議会・二ホンシカ対策部会」の委員として、早池峰フォーラム実行委員会代表という立場での参加です。

8日は自然保護課担当者の指示で一旦小田越まで分乗して移動、ネットや打ち込み用の杭、立ちあげるポールなど結構な重量物の荷揚げです。打ち込み用の杭2束とネットの下部を止めるペグ1袋、個人装備を背負子につけると約20キロ、歩荷訓練のつもりで2合目の現場まで歩きました。昨年と同じ行程だったので比較的余裕があったものの、ようやく現場にたどり着いた感じでした。位置決め作業は自然保護課の方にお任せし、霧雨の中でボランティア組は昨年張った網を立ち上げ、昼食を摂った後下山となりました。

そして10日は、今年新たに拡張する部分の杭打ちと網張りです。3班に分かれて作業しましたが、杭打ちとポール立ては順調だったものの笹の斜面に網を張るのは結構大変で、120mにわたっての作業は時間がかかりましたが、天候が崩れる前に何とか所記の目標に到達できたようでした。

網を設置した場所は稜線を外れていて風当たりが弱く、湿性植物と中性の植物が適度に育っていて、コバイケイソウ・チングルマ

・ヨツバシオガマ・チシマフウロなどがお花畑をつくっていました。この一帯をシカの食害から守ることを目的にした訳で、2年越しで囲い込み作業を終えたこととなります。

終了後はマイペースでの下山となり、小田越の高山植物監視所の駐車場で解散でしたが、自然保護課の皆さんが戻って担当責任者の御礼の挨拶を聞き、無事に2日間の活動を終えて家路につきました。